

分娩にかかる入院費用の概算について（ご案内）

1. 分娩にかかる入院費用

（１）正常分娩に関する入院費用の例は下表のとおりです。

通常、正常分娩の入院期間は5日～7日です。

時間内8:30～17:15/時間外①17:15～22:00及び6:00～8:30/時間外②22:00～6:00

	時間内	時間外①	時間外②（深夜早朝）
保険診療費（自費） 検査・処置・注射等 （7日分）	約320,000円		
食事（7日分）	約12,000円		
出生証明書（文書料）	2,200円		
新生児介補料等 （6日分）	91,800円		
分娩料	327,500円	359,000円	369,500円
合計	約76万円	約79万円	約80万円

※1 上記料金についてはあくまで概算額であり、入院期間や診療内容により増減する

場合があります。出産状況によって追加費用がかかる場合があります。

※2 新生児介補料は、新生児に対する保育介助料/室料・コット使用等に関する費用として、1人1日当たり15,300円をいただいております。

※3 「出産一時金」を入院費及び「産科医療補償制度」の加入料金の支払に充てられます（出産一時金の直接払い制度利用に関する合意確認書の記載が必要です）。

※4 出産費用の一部（出産一時金利用時25万、利用なし75万円）を前払いにてお支払いいただきます。

※5 無痛分娩をご希望の方は、別途15万円がかかります。

（２）帝王切開等に関する入院費用は、健康保険を使用して約10日間入院した場合
約67万円となります。

2. その他の費用

（１）ご希望により、有料個室のお部屋をご利用いただけます。

（２）40歳以上の初産婦の方、22週から32週未満の早産の方、子宮内胎児発育遅延の方等は、ハイリスク分娩管理加算（健康保険3割負担の場合で1日9,600円）が別途加算されます。

3. 産科担当医師、助産師の配置等について

（１）産科担当医師19人助産師の配置19人

（２）昨年の分娩件数304件（2024年実績）

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター

2025年4月1日現在